



## 編集後記

福祉の支援の現場では、人材育成を含め支援の質の向上が課題であり、取り巻く環境や支援者自身のメンタルヘルスは支援そのものに影響を及ぼします。人材の問題は何処の地域でも同様の傾向にあるのかもしれませんが、奄美地区という離島環境において人材不足や県本土での研修受講には大きなハードルがあり、当時名瀬小学校に勤務していた住田氏（現在、国分西小）と地域の人に呼びかけながら自分たちでできる研修を行っていました。そのような中、2019年に奄美で開催された研修会での高橋氏との出会いからこの「そだちサポート勉強会」が生まれました。コロナ禍という今までに経験のしたことのない状況は人と人を遠ざけましたが、オンラインの標準化という距離を問題としない形は離島という環境には追い風となりました。

当初「事例検討会」という言葉に参加者も緊張している様子でしたが、「わからないと答えて良い」「自分が解決するとしたら」というルールがある「インシデント・プロセス法」を取り入れたことで、それぞれ経験の差があっても自身の考えを安心して発言できるようになりました。

回数を重ねるごとに、一問一答形式のアセスメント方法に慣れ、他の事業所の人たちと一緒に考える楽しさも共有できるようになり、今では、記録が追い付かないくらい早いテンポで行われ、多くの支援方法の提案がなされることに嬉しさを感じています。

今回、3年間みんなで取り組んだこの事例検討会を、報告書を兼ねた事例集として作成することになりました。「同じ状況にあっても、いろいろな視点や支援方法があるという事に気づくことができる」そんな事例集になったらという思いで作成しています。読まれた皆さんにとって日々の支援の一助になったら嬉しく思います。

最後に高橋、今村両氏をはじめ、この勉強会をはじめのきっかけを作り、今でも関わってくれている住田氏、この事例検討会に参加された、奄美大島の児童関係事業所の皆様や大島特別支援学校の先生方に心から感謝いたします。

2023年 9月1日

奄美地区障がい者等基幹相談支援センター  
(ぴあリンク奄美)

センター長

大津 敬

事務局担当

福崎 伸悟